



talk! talk! talk! お笑い芸人・山田よしさん



お笑い芸人 山田よしさん

お笑いコンビCOWCOWのつっこみとして、テレビ番組や劇場で常に笑いを提供してくれる山田さん。コンビとしての活動のほか、ピン芸人のトップを決める大会「R-1ぐらんぷり」に出場し決勝に進むなど、個人の活躍も目立つ。また、絵を得意とするところから舞台美術の制作にもたずさわるなど多彩な才能の持ち主。そんな山田さんは19歳の頃から写真を趣味としている。現在大人気の写真ブログのことも含め、日々撮り続ける写真について語っていただいた。

プロフィール

やまだ・よし。1974年大阪府生まれ。1993年にCOWCOWを結成し、主に大阪の劇場で活動。その後2001年に東京に進出し、現在では「ルミネtheよしもと」など複数の劇場に立つ。また、テレビ番組「エンタの神様」（日本テレビ系）や「爆笑オンエアバトル」（NHK）などに多数出演し、ギャグイベント「秒殺」の主催も行う。現在、ヨシモト∞ホール「ヨシモト∞」では隔週レギュラーを務める。受賞歴に、第19回ABCお笑い新人グランプリ・最優秀新人賞受賞。NHK新人演芸大賞・大賞受賞。第36回上方漫才大賞・優秀新人賞受賞。第6回R-1ぐらんぷり決勝進出8位（山田さんのみ）。

Beginning 出会い

おじいちゃんのカメラと出会い 写真が日常に

ご自身のブログで、普段は見られない芸人さん達の素の表情や、おもしろい一場面を写真で表現されていますね。ブログのアクセス数もとても多いとうかがいました。写真はもともと好きだったのですか？

19歳くらいから一眼レフカメラで撮り始めましたね。たぶんおじいちゃんのだと思うんですが、一眼レフカメラが家にあったんです。軽い気持ちで撮り始めたら面白くて、写真集などもいろいろ見るようになって、アラキー（荒木経惟）さんにはまったんです。それからかなりのめり込みました。

どんなものを撮られていたのですか？

街と人ばかりでした。今と同じでその頃は芸人仲間をよく撮ってました。あとは見ず知らずの街の人。公園に行って、遊んでいる子供を何も言わずに撮ったり。今考えるとちょっと怖いんですけどね（笑）。普段からカメラを持ち歩いて、しょっちゅうシャッターを切っていました。

では以前から周りの芸人さんには山田さんの写真好きということが認知されていたのですか。

そうですね。大阪の「baseよしもと」という劇場を拠点に活動していたときも、同じ舞台に立つ芸人仲間写真部を作ったりもしていました。吉本新喜劇の小藪千豊やスタッフさんたちの合わせて5人くらいの編成でしたが、その仲間撮影に行ったり、撮った写真をよしもとが出す会報誌に載せたりもしていたんです。ポストカードにして販売させてもらったりもしましたね。

その頃から今まで変わらず写真を楽しまれていて、現在では撮った写真をブログで公開するという形になったのですか。

そうですね。でも、29歳のときに一回写真を撮りやめているんです。結婚をした当初で、家計的に厳しかったことがあって、当時使っていたニコンF80も売ってしまったんです。そこでバタツと撮らなくなってしまいましたね。多分その頃ちょうどDシリーズが出始めたときで、すごく欲しいなと思ったのを覚えています。

また写真を撮り始めたきっかけは何だったのですか？

ずっとまた始めたいとは思っていたんですが、今年の5月くらいにブログのシステムが変わってパソコンから写真をアップできるようになったんです。それで、撮った写真をブログに載せたいと思ってD60を買いました。

久しぶりのカメラの感覚はいかがでしたか？

嬉しかったですね。それまでフィルムカメラでしたから、デジタルカメラの何枚撮ってもいいというのがすごく良かったです。やっぱりフィルムカメラは1枚が貴重だから、撮影の際に構えてしまうところがありますが、デジタルカメラはその点気軽に撮れるので、買った当初はもう撮りまくってました。でも、デジタルカメラ自体初心者だったから、ブログに写真をアップすることにも初めはすごく手間取って、30枚アップするのに4時間くらいかかってたんです（笑）。それは撮ったままの大きな画像サイズをそのままアップして。そうしたら、ブログを見てくれた方が「小さいサイズにした方がいいですよ」ってコメント欄に書き込んでくれて、そこで教えてもらったんです。

Pleasure 楽しみ

構えていないそのままの芸人の姿を撮りたい

今も日常的に写真を撮り楽しんでいるのですか？

カメラは常に持ち歩いていますね。家では自分の子供を撮って、仕事場では楽屋などで芸人仲間を撮ることが多いです。いつもすごい量を撮ってますね。

芸人さんたちは山田さんに会えばいつも写真を撮られるのですか（笑）。みなさんの反応はいかがですか？

あんまりよくないですね（笑）。どんだけ撮んねんという感じです。特に取材が多い芸人になると撮られることに飽きているからでしょうけど、カメラを向けてもリアクションがなかったりします。

（笑）。それは少し寂しいですね。

いや、でも逆にその飽きている感じというか、無意識の状態を撮りたいんです。芸人はカメラを向けられれば何かせなあかなくて思うものなんですけど、そうじゃなくてもうカメラの存在を無視してくれている無意識の瞬間を狙っているんです。僕がカメラを構えていても、こっちも見ずに煙草吸っていたり、何もしないところがいいんです。

確かにブログを拝見していると、素の表情の芸人さんたちが写っていますね。

撮る前には特に何も言うてないんです。そーっとカメラを出してそーっと撮るのが好きなんです。そうすると、「またか〜」みたいな素の笑顔を撮れるんです。特に後輩を撮るときは、声をかけたり、ブログに載せるとも言わずにただ撮るといことも多いですね。真剣にネタ合わせをしている最中の風景も、そっと後ろから撮ったり。僕が撮る人物写真のテーマは、構えていないそのままの姿ですね。

なるほど。そういった意識していない表情を撮るためにポイントとされていることはありますか？

しつこく撮るといことですね。要は無視して欲しいんですよ。何回もシャッターを押して、「もういいや〜」となる瞬間を待つんです。でも先輩や目上の人となると、そこまで時間を費やせませんけどね。

そういった場合はどうされるのですか？

初めの1回は捨てるんです。たとえば先輩にカメラを向ける初回というのは、とりあえずいい写真を撮るといことは置いて、僕は写真が好きですよというアピールだけです。本番はその次からなんです。僕が写真を撮るってことをわかってもらえれば「またかお前か〜」となって、受け入れてくれるので。

写真を撮ることがコミュニケーションのきっかけにもなるのですね。

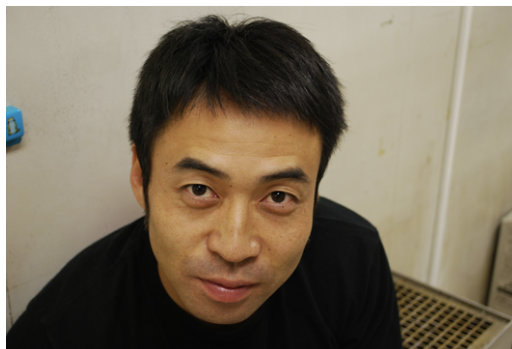
そうですね。たとえばコンビ名も知らないくらいの後輩を、いきなり撮ってから「名前何ですか？」って聞いたり。自分から撮っておいて、誰ですか？というのは失礼ですけどね（笑）。ただ名前を聞いても忘れちゃうことが多いので、ブログにアップする際は写真とこの子の名前わかりませんと一文書くんです。そうすると読んでくださる方からコメント欄に「〇〇というコンビの〇〇さんです」と書き込んでくれます。若手の後輩に関しては、ファンの方たちの方が詳しいんですよ。



Photo's 作品紹介



1. 男前な豪傑



2. 男前なワッキー



3. ほっぺたまんじゅうみたい



4. 野原王子の微笑み



5. 是非表紙に使ってください



6. かわいいでしょ



7. 『実におもしろい』



8. 増録え



9. ほんにゃのネク合わせ



10. 和鈴（にこり）の朝

Future これから

狙うはD700！ 目指すはアラキーさん！

ブログに日々撮っている写真をアップするというのは、山田さんにとってどういった意味合いを持っていますか？

もちろん写真が好きで、撮ったものを見てもらいたいという気持ちが大きいですが、プラス普段はあまり伝わらない芸人の姿を見てもらえればいいなと思っているんです。楽屋裏で面白いエピソードがあっても、舞台上じゃべたらうけないということもあるんですね。でも写真があると、その面白さが伝わりやすくなるので、笑える要素も含めてブログを書いています。見てくれる人が楽しんで欲しいなという気持ちはとてもありますね。

写真と文章で笑いを作っているんですね。では写真の魅力はどんなところだと思われますか？

写真は過ぎてしまった瞬間を見返せるところがいいところだと感じますね。普段普通に過ごしているだけだと、誰かと出会って話したとしてもそのときの表情を忘れてしまいますよね。表情は常に変わっていくから。でも写真を撮っていると、その瞬間の表情を見返せる。「この人ってこんな顔するんや」とか「こういう横顔してたんや」という感じで、会って話しているだけでは気づかない顔も写真には残りますからね。

なるほど。確かに、誰かと面と向かって話していても、そのときにはとらえきれない人の表情がありますよね。

そうなんですよね。今の奥さんと初めてデートしたときにも僕はバシャバシャ彼女の写真を撮っていたんですが、撮っていて本当によかったなと思うんです。そのときの猛烈に好きな気持ちがちゃんと写真に写り込んでいるし、そういう写真を子供にも見せてあげられるのが嬉しいですね。

流れる時間の中の一瞬を見たときに、そのときの感情があらわれてくるんですね。

はい。そういった意味でも、僕はビデオより断然写真をおすすめしたいですね。僕も子供をビデオで撮っていたこともありましたが、ビデオじゃないなと思ってすぐカメラに切りかえたんですよ。目の前の光景をしっかりと見ているつもりでも、実は見えてない

ものってありますし、それを写しとどめて見えるようにしてくれるのが写真なんだと思います。これから挑戦したいことはありますか？

ニコンD700を狙っています。今使っているD60は入門機としてすごくいいですが、これからレベルアップもしたいので、上位機種を買いたいですね。僕がD60で撮っていたら後輩や周りの人たちもカメラを買出したんですよ。キムタクさんに負けずに宣伝していると思います（笑）。ありがとうございます（笑）。東京芸人さんたちの中でも写真部はあるのですか？

ありますよ。メンバーは石田靖さん、POISON GIRL BANDの阿部ちゃん、レイザーラモン・RG、新喜劇女優の目黒紗織、チュートリアルの徳井やオリエンタルラジオの藤森、なかなか全員がそろうことはないですが、みんなでなにか活動したいですね。あとは、アラーキーさんのように自由に何でも撮っていききたいですね。道ばたの花から女性の裸、街の風景。あれだけいろいろ撮っていて、すべてから撮るのが楽しいという気持ちが伝わってくるので。アラーキーさんのスタイルにならって、もっと写真を撮りたいです。それで写真を撮るという仕事もきたらいいなと思っています。



[> コンテンツトップへ戻る](#)

※掲載している情報は、コンテンツ公開当時のものです。

株式会社 **ニコン** 映像事業部

株式会社 **ニコン** イメージング ジャパン

© 2019 Nikon Corporation / Nikon Imaging Japan Inc.